

# 説明と同意書

## <説明内容> CT造影剤使用

ID  
番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 性別 男 女

生年  
月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

この検査・治療を受けられる前に内容についてご説明します。内容を十分に理解し納得した上で、同意される場合には同意書に署名をお願いします。わからないことがありましたら些細なことでも結構ですので質問してください。

1) 現在の病状、診断名、重症度

2) 必要とされる医療（手術、麻酔、検査、その他の治療法）

今回実施するCT検査では「ヨード造影剤」という薬の注射をする場合があります。腎機能が正常であれば、注射後6時間で約90%が腎臓から尿として排泄され、やがてすべてが体外に排泄されます。静脈内に投与された造影剤は血管を介して全身の臓器に分布し、血管腔の状態、臓器や病変部の血流状態、造影剤の分布がわかり、画像診断上、重要な情報となることがあります。造影剤を使うかどうかは検査の部位や目的によってさまざまで、専門の放射線医が判断します。なお、造影剤は体重により使用する量が異なります。造影剤を使うと、まれに副作用が起こることもあります。アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性がそれ以外の方の約3倍多いとされ、なかでも喘息の方は約10倍といわれています。副作用は下記のようなものです。

3) 上記医療の予想される効果と限界

4) 上記医療を受けない場合に予想される病状の推移と可能な他の治療法

5) 起こりうる合併症と危険性・死亡の可能性

**軽い副作用** 吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹などです。検査の1～2日後に発疹が現れることもあります。これらは治療を要さないか、1～2回の投薬や注射で回復するものです。この確率は100人につき5人以下です。

**重い副作用** 呼吸困難、意識障害、血圧低下、腎不全などです。このような副作用は入院治療が必要な場合があります。後遺症が残る可能性があります。この確率は6,000～8,000人につき1人程度（約0.01～0.02%）です。症状、体質によりますが40万人に1人の死亡例報告があります。

造影剤を注射するときは

体が熱くなることがありますが、これは造影剤の直接の刺激であり心配ありません。

勢いよく造影剤を注入するため、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合は注射した部位が腫れて、痛みを伴うこともあります。基本的には時間がたてば、吸収され、心配ありません。漏れた造影剤が非常に多い場合は特別の治療が必要となることもありますが、非常にまれです。

※緊急時の対応：当院では検査中、看護師が患者様の様子を観察し、必要があれば医師も立ち会い、万一の副作用に対して素早く対応できるようにした上で、検査を実施しています。

もし、検査中に変だと感じたら、ためらわずにおっしゃってください。その他わからないことや、気になることがあれば検査担当者にお申し出下さい。

# 説明と同意書

<説明内容>MRI造影剤使用

ID  
番号

氏名

性別 男 女

生年  
月日

年 月 日 年齢

歳

この検査・治療を受けられる前に内容についてご説明します。内容を十分に理解し納得した上で、同意される場合には同意書に署名をお願いします。わからないことがありましたら些細なことでも結構ですので質問してください。

1) 現在の病状、診断名、重症度

2) 必要とされる医療（手術、麻酔、検査、その他の治療法）

今回実施するMRI検査では「ガドリニウム造影剤」という薬の注射をする場合があります。腎機能が正常であれば、注射後6時間で約80%以上が腎臓から尿として排泄され、やがてすべてが体外に排泄されます。静脈内に注入された造影剤は血管を介して全身の臓器に分布し、血管腔の状態、臓器や病変部の血流状態、造影剤の分布がわかり、画像診断上、重要な情報となることがあります。造影剤を使うかどうかは検査の部位や目的によってさまざま、専門の放射線科医が判断します。なお、造影剤は体重により使用する量が異なります。造影剤を使うと、まれに副作用が起こることもあります。アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性がそれ以外の方と比べ3.8倍、喘息の方は1.5倍多いといわれています。副作用の種類は下記のようなものです。

3) 上記医療の予想される効果と限界

4) 上記医療を受けない場合に予想される病状の推移と可能な他の治療法

5) 起こりうる合併症と危険性・死亡の可能性

## 軽い副作用

頭痛、嘔吐、顔面紅潮、かゆみ、くしゃみ、発疹などです。これらは一過性のもので治療を要さないか、1～2回の投薬や注射で回復するものです。この確率は100人につき1人程度です。

## 重い副作用

呼吸困難、肺水腫、ショック、視覚障害、痙攣などです。この確率は4万人に1人以下です。100万人に1人程度で死亡例が報告されています。

## 血管外漏出

検査によっては勢いよく造影剤を注入する場合があります、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合は注射した部位が腫れて、痛みを伴うこともあります。基本的には時間がたてば、吸収され、心配ありません。特別な治療が必要となることもありますが、非常にまれです。

※緊急時の対応:当院では検査中、看護師が患者様の様子を観察し、必要があれば医師も立ち会い、万一の副作用に対して素早く対応できるようにした上で、検査を実施しています。

もし、検査中に変だと感じたら、ためらわずにおっしゃってください。その他わからないことや、気になることがあれば検査担当者にお申し出下さい。